

平成29年9月28日、臨時国会が召集されるとともに、衆議院が解散されました。そしてこの日をもって15年にわたる衆議院議員としての活動を終える決意を致しました。

愛知県議会議員から始まり、蒲郡市長、衆議院議員と、これまで35年になる私の政治活動をお支え頂いた皆様に心から厚く御礼申し上げます。

私の政治生活を振り返った時、後援会の皆様をはじめとする有権者の皆様には感謝の言葉以外見当たりません。幾多の選挙をともに戦って下さった戦友と言っても過言ではない皆様方の顔を思い浮かべた時、鈴木克昌は世界一の幸せ者でありました。

私は、この度、政界を引退する決意を固めましたが、まだまだ気力も体力も充実しています。これからも政治の道で邁進する情熱もあるつもりでした。

しかし、急速に変化する時代の中で、私は後進にこの国の未来を託し、培ってきた経験と英知をこれまでと違う形で発揮して参りたいと考えるようになりました。

この度、後継者として選んだ人物は、秘書として粉骨砕身して私の政治活動を全力で支えてくれた田中克典君であります。

彼の政治に対する愚直なまでの誠実さは誰をも魅了するものであり、いかなる状況下においても対応できる適応能力や判断能力の高さは、私がこれまで出会った多くの政治家をも凌ぐものであります。

難題山積する現在の日本にあっても、田中克典君ならば、その能力を存分に発揮し、必ず日本とふるさと14区のために役立ってくれるものと確信しています。

素晴らしい素質と無限の可能性を秘めた田中克典君が、縦横無尽に国政の場で活躍し、皆様の想いと国政をつなぐ架け橋となる姿に大きな期待を寄せています。

「身はたとひ 武蔵野野辺に 朽ちぬとも 留め置かまし 大和魂」

この句は、吉田松陰最期の著書となった留心録の冒頭に記された句です。政治家の役割は、何をなすかではなく、意志を引き継ぎ、より良き日本を創造してくれる人材を次世代のために育て、つないでいくことだと思います。

私も田中克典君が国政で活躍できるよう、全力で応援をして参ります。

何とぞ、私が頂いた以上のご支援を、今度は田中克典に賜りますことを伏してお願い申し上げます、これまで政治活動をお支え頂いた皆様への御礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。

前衆議院議員 鈴木克昌